

平成 30 年度 施策評価表

施策	1801	道路網の整備	施策担当部等	都市整備部	部長	増田 正治
			施策担当課等	道路課	課長	浦山 弘幸
施策の方針	交通の利便性と安全性を確保するため、国道34号の整備促進、幹線道路や生活道路の整備を計画的に進めるとともに、「木場スマートインターチェンジ（仮称）」の整備を行う。					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

①	指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
	① 都市計画道路の改良率	%	70.8	71.0	71.0	71.0	71.0	72.0	100.0%	98.6%
	② 木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率	%	28.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0%
	③ 市道の改良率	%	66.8	67.6	67.9	68.3	68.6	69.0	99.6%	98.0%
	④									
	⑤									

施策達成状況の説明

- ①都市計画道路の改良率
率については目標値と同じだが、整備を進めるも整備済の路線は無し。
- ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率
スマートインターチェンジについては3月18日に開通し、整備は終了した。
- ③市道の改良率
経年劣化による維持管理費の増加に伴い、改良に必要な経費が減少傾向にあり、目標値を僅かに下回った。

施策経費

内訳	(単位:千円)	H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	特記事項
		事業費	983,306	532,794	
国庫支出金	260,819	135,343	148,247		
県支出金	0	0	0		
地方債	409,100	184,631	308,825		
その他	11,894	22,526	30,258		
一般財源	301,493	190,294	234,015		
人件費	108,030	88,124	-		
フルコスト	1,091,336	620,918	-		

施策の概要

180101	国道34号の整備促進	国道34号大村-諫早間の4車線化については、慢性的な渋滞を解消するため、早期事業化を促進します。 また、市内中心部の拡幅についても、未整備区間の早期完成を促進します。
180102	幹線道路の整備	九州新幹線西九州ルートの開業等による交通需要の変化などを踏まえ、「池田沖田線」、「大村駅前原口線」など、都市計画道路の整備を進めます。
180103	木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備	高速道路へのアクセス向上や幹線道路などの交通円滑化を図るため、木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備を行います。あわせて、木場スマートインターチェンジ（仮称）から都市計画道路「久原池田線」までの市道整備を行います。
180104	生活道路の整備	市民生活における移動の利便性と安全性を確保するため、市道の計画的な整備とその他生活道路の維持管理等の促進に努めます。 また、長寿命化計画に基づき、道路施設の適切な維持管理に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題	①都市計画道路の改良率 改良につきましては、多額の予算及び用地が必要となるが、事業費の内示率減及び用地・補償提供者との交渉に多くの時間を要している状況である。 ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 スマートインターチェンジについては、平成29年度末（3/18）に開通を迎えたが、アクセス道路について、一部用地・補償未契約箇所が残っている。 ③市道の改良率 市道の経年劣化による維持管理費の増加により、改良に必要な予算確保が難しい状況であるが、改良については選択と集中により整備を進めて行きたい。 現在も地区から年間数ヶ所の改良要望があっているが、以前から要望を受けている地元関係者から、事業着手が遅い等の苦情が寄せられている状況である。
------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)	
------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課題を踏まえた施策構成の改善・改革や新規事業についての考え方	①都市計画道路の改良率 予算内示率減により進捗が図られない状況であるが、関係各課と共に、用地・補償提供者と交渉を重ね、代替地等提示など提供者の意向に沿うような協議を実施する。 ②木場スマートインターチェンジ（仮称）の整備進捗率 木場スマートインターチェンジ（仮称）の工事については、全区間の整備を終えた。一部市道整備にかかる用地・補償の合意に至っていない箇所がある。今後も引き続き交渉を行っていき、スムーズな通行となるように整備を早急に進める。 ③市道の改良率 維持管理費の増加により、改良の予算確保が難しい。優先順位の再検討などを行いながら、改良率向上につなげる。
------------------------------------	--

平成31年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1	都市計画道路見直し事業	都市計画課	3,730	平成22年度に都市計画道路の見直しを行い、10年が経過し、整備の見通しの立たない路線や、新規路線の検討など、これからの都市基盤の整備に必要な路線の検討を行うもの。
2				
3				
4				
5				
			3,730	